

「ゼロ災オンライン」新コンテンツ追加のお知らせ

危険の兆しを見逃さない それがプロの仕事

現場の“声”から生まれ、 進化し続ける「ゼロ災オンライン」

現場で事故が起きる時、その陰には多くの「予定外作業」が潜んでいます。「道具が違う」「時間が押している」「手順が変わった」。こうした些細な5W1Hの変更(イレギュラー)が生じた瞬間、現場には静かに「危険の兆し」が灯っています。

事故・災害のリスクは現場ごとに異なり、マニュアル通りにはいきません。だからこそ本シリーズは、企業の安全管理担当者からの具体的なリクエスト(SOS)に応える形で新作を追加し続けています。「イレギュラー作業の危険性を伝えたい」「この時期特有の兆しを教えたい」。現場最前線の切実なニーズを反映しているからこそ、働く人の心に届き、行動を変える力を持つのです。

「STOP!危険の兆し」 現場の「リクエスト」から生まれた、新しい安全教育シリーズ

New

重機の安全操作
ここに注意!

New

STOP!危険の兆し
フルハーネス完全ガイド
——点検・疑問解決——

New

敷鉄板吊り作業の玉掛け
ここに注意!
——敷鉄板吊り用チェーンリングの場合——

Vol.1 重機の安全操作 ここに注意!

年間約300件の転倒事故。
その原因は「重心」と「旋回」にある。

ブルドーザからバックホウまで、機械ごとの死角を3Dで可視化。さらに、点検時の安全措置として、クローラ式には地面に食い込む「歯止め」を、タイヤ式には「輪留め」を使い分けるなど、車種別の正しいロック手順など幅広く解説。

Vol.2 フルハーネス 完全ガイド

「少しなら大丈夫」が命取り。
廃棄基準と点検の勘所。

あなたの命を守る「最後の砦」であるフルハーネス。高さ6.75m以上での義務化や、2m以上での特別教育の要否など、Q&A方式で現場の疑問を解決。中性洗剤を使った正しい洗浄方法まで、長く安全に使うための管理術を網羅。

Vol.3 敷鉄板吊り作業の 玉掛けここに注意!

フックの向きが逆だ!
「吊る時」と「倒す時」の決定的な違い。

法令で定められた安全措置を徹底解説。
1.吊り上げ時＝外れ止めは「鉄板の外側」へ向ける。
2.倒す時(方向転換)＝外れ止めは「鉄板の下」へ。状況に応じてフックの向きを使い分ける、玉掛けの核心に迫ります。

次回予告

- ・開口部墜落防止編
 - ・現場作業編(入構教育)
 - ・熱中症とイレギュラー作業の関係性
 - ・酸欠・中毒防止編
- 続々と公開予定!

現場の声で増え続ける『STOP!危険の兆し』シリーズ。季節ごとのリスクや、新たな事故事例に対応した新作を順次リリースします。

「危険の兆しを見逃さない、それがプロの仕事」

この合言葉と共に、私たちは常に最新の安全ノウハウをお届けし続けます。



ゼロ災オンライン
Powered by SafeGraphy